

補助金等の評価結果に基づく反映状況の確認及び検証結果の報告について

平成26年9月に終了した補助金等の評価結果に基づき、平成27年度当初予算への反映状況の確認及び検証を実施しましたので、その結果を報告し、委員会としての意見を附します。

平成27年7月31日

聖籠町長 渡邊 廣吉 様

聖籠町補助金等評価調査委員会

副委員長

渡辺 勲 市

1 反映状況の確認及び検証結果

- ① 平成25年3月21日に「補助金等の適正かつ効果的な交付について(答申)」以降、2年以上経過しているにも拘らず、未だに補助金等交付要綱等の制定のないものが3件、また、現時点で平成27年度以降に要綱等改正を検討中のものも11件あり問題意識の低調さが伺える。
- ② 評価対象補助金等60件の内、要綱等改正による削減件数は8件あるが、予算編成時の2%程度一律削減対象の10件も削減効果扱いされており、委員会の基本姿勢に馴染まないものも見受けられる。
- ③ 同じく、評価対象の内、削減対象が46件で、その金額は19,709千円となっているが、平成26年度補助金等比較では8.5%程度であり、その中には平成27年度に該当がなかったため、予算計上されなかった分等も含まれており、果たして適正な削減効果と言えるか疑問が残る。
- ④ 委員会の評価として、廃止検討の判断が8事業あるにも拘らず、現時点では廃止予定や検討は2事業で、残りの事業は継続の意向である。客観的な外部評価者と内部実務者との距離感が否定できない。
- ⑤ 平成27年度に、新規3件、計48,660千円の事業補助金が計上されたが、上記3との比較では約3千万円の増額となる。また、当該事業中には補助率で「町長が定める額」との説明もあり、これまでの委員会の検討経過からすると奇異に感じられる。

2 検証結果に対する意見

- ① 平成24年11月6日付けの貴職の諮問趣旨と25年3月21日付けの当委員会の答申内容を精読の上、今後も補助事業等に対する継続的な改革の努力を期待します。また、これに関連して、平成26年9月30日付けで提出した補助金等の評価及び扶助費における附帯意見も実務改善の一助としてください。
- ② 特に、行政運営のための自主財源は有限で、毎年、変動逡減し、近年は財政力指数が普通交付税交付水準に近づきつつあり、財政の硬直化が憂慮される事態であることを踏まえ、昨今の行政を取り巻く時勢の推進や変化、周辺自治体の行政手法や水準分析にも視野を広げる等、補助金等制度適正化への効果的な改善努力を期待します。

以上